



駒澤会だまり

第34号

精力善用

自他共栄

駒澤会会長
一戸隆男

令和2年12月15日
駒澤大学駒澤会 発行



2020年もいよいよ年の瀬に入りました。本年も駒澤会の活動にご理解、ご協力賜りましたこと、会を代表いたしまして御礼申し上げます。

1年を振り返りますと、新型コロナウイルスや自然災害など経験したことのない事象に生活様式や組織の在り方が変化し、皆さまにおかれましても大変苦勞された1年ではなかったかと存じます。駒澤会においても例外ではなく、各種行事の中止や会議様式の模索など、決して楽な1年ではありませんでした。その中でも総会を書面会議で行い、全国にいらっしゃる会員の皆さまからご意見を頂戴できたことには、意義を感じました。駒澤会会員の皆さまにご協力いただいたからこそ、このような状況下で駒澤会の運営が成り立っております。重ねて心より感謝申し上げます。

さてこのコロナ禍において、プロ野球ドラフト会議で硬式野球部から3名の選手がドラフト指名（育成選手含む）されたことや、陸上競技部の全日本大学駅伝大会6年ぶり13回目の優勝、SNSを駆使した大学祭開催など駒大生の華々しい活躍が耳に届いております。数少ない活躍の場で結果を残し努力する姿、学生自ら活躍の場を模索し作り出す逞しい姿に感銘を受けました。駒澤会会長として改めて、一人でも多くの学生に「駒澤大学で学べて良かった」と笑顔で過ごしてほしいという想いを胸に抱き、引き続き学生支援に取り組んで参る所存です。

新型コロナウイルスによる制限が徐々に緩和され、「With コロナ」の新しい生活にも慣れてきたところではございますが、引き続きお身体には十分にご留意いただき、再び会員の皆さまとお元気な姿でお会いできる時を待ち望んでおります。

大学より感謝状が授与されました



(左から長谷部学長、一戸会長、森屋顧問、永井総長)

7月30日(木)、駒澤大学から第8代会長の森屋正治氏へ、その功労を称えると共に御礼の気持ちを込めて感謝状が謹呈されました。

森屋氏は8年間に亘り駒澤会会長として駒澤大学の学生のためにご尽力くださいました。これからは駒澤会顧問として、ご協力くださいます。

永井総長(名誉会長)と長谷部学長(名誉副会長)が同席し、第9代一戸会長と新旧会長のご挨拶が行われました。

令和2年度 駒澤会奨学金について

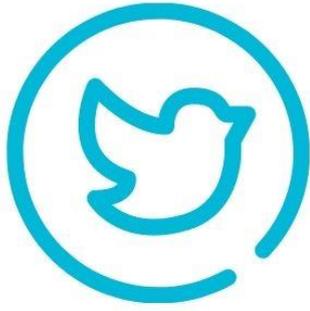
駒澤会では、毎年学業奨励を目的とし各学部の成績優秀者に対して、1人20万円の奨学金を20名に給付しています。しかし、今年度第一給付目的が「学業奨励」から「経済支援」に変化し給付対象者がいなかったため、給付に至りませんでした。その経緯について詳細をご報告いたします。

駒澤大学には、「駒澤大学百周年記念奨学金」と「駒澤大学同窓会奨学金」、「駒澤大学駒澤会奨学金」の3種類の学内奨学金制度が設けられています。学内の対象者に対し支援を行う給付型奨学金ですが、令和2年度より学内の奨学金関連諸規程が見直され給付対象の第一目的が「学業奨励」から「経済支援」に変化し、その第一目的を満たす対象者のうち、学業成績の優秀な学生に給付することになりました。

また、令和2年4月より文部科学省が始めた「高等教育の修学支援新制度」により、学内奨学金対象者数が大きく減少しました。この国による新制度は、私立大学に通う自宅外生で最大、年間70万円の授業料減免と年間91万円の給付型奨学金を受けられる制度です。これには600名を超える学生が採用され、経済支援型奨学金の対象者層の多くは包含されることとなりました。

本学でも今年度の募集・選考を行いました。国の新制度による採用者も多く、申請者が100名に満たず、規程に基づき申請者全員を「駒澤大学百周年記念奨学金」で採用したため、駒澤会奨学金における奨学生選出には至らなかったという経緯です。

このことについては駒澤会第2回役員会にて事務局より報告され、今年度奨学金予算は運用せず、来年度以降の充実した支援に充当することで承認されました。会員の皆さまにおかれましてはご理解、ご協力のほど今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



KOMAZAWAKAI HIROBA

2020年のいま。



教育後援会 石井 晋一 会長

昨年の出雲駅伝には、台風の影響で現地に赴いての応援は叶いませんでした。今年、コロナ禍で開催自体がなくなりました。伊勢・箱根の両駅伝は開催はするものの一切の応援を控えるよう、通達がありました。駒澤会さんにお招き頂いた夏のイベントも見送られ懇親の機会を逸しました。ナイナイづくめでしたが、漸く来春には学生諸君がキャンパスに戻ってこれそうで。駒澤会の皆さまともお会いできる日を心待ちにしております。

駒澤会広報部 原田 とも子 さん

コロナ禍の過ごし方 ~私流~
皆さま こんにちは、はじめまして。
コロナ禍で、人生の歯車が鈍り始めた、感じてしまったある日のエピソードです。
急に正座をし目を閉じた、手は無意識に法界定印をして、時の流れにひと時を過ごした。心も体もすっきりと、穏やかな気持ちにリセットできた瞬間。夢中になる事への前向きな気持ちになれたことに感謝しています。
テニス・ストレッチ・フラワーアレンジメント・お菓子作り・断捨離など。楽しくチャレンジしています。

川柳・短歌コーナー

東京都 なみすけさん
忘れ物 定期ハンカチ 鍵マスク
GOTOを 使いたいけど おしGOTO
ゆるむ腹 コロナ太りと ごまかして

東京都 桂男 88 さん
目には見て え
手には取られぬ 画面の内の
友に会いたき 思い募れど

三重県 駒澤会の広報大使
マスク越し
それでも分かる 美男美女
箱根路で 優勝するのは 駒大だ

東京都 下町メガネ
テレワーク 会議に備え 模様替え

自然災害やコロナ禍など今までの日常とは異なる日々を過ごす皆様にとって「いま」を知り交流のきっかけとなれば幸甚です。記事の提供等ご協力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。
ちなみに、事務局・谷国の日々の楽しみは広島の実家にいる愛犬の写真を見ることです。毎日両親がLINEで写真を送ってくれるのですが、可愛くて仕方ありません。今年一度も帰省することができず残念ですが、写真を見て癒されたり、ビデオ通話で家族との時間を楽しんでいます。

感染対策等は引き続き万全にしつつ、日々の楽しみや今ある時間を大切にしていきたいものです。皆さまくれぐれも、お身体ご自愛ください。





新型コロナウイルスにより大学生活が一変した2020年。多くの学生にとって我慢を強いられた1年だったと思います。駒澤大学では様々な部署が工夫して、学生たちにとって安全、かつ安心して過ごせるキャンパス作りに励んでまいりました。

#コロナに打ち勝て!

学生のキャンパスライフはどうなっているのか？
駒澤キャンパスツアーにご招待いたします！

駒澤大学のいま。



正門

まずは、対策の要である駒澤キャンパスの正門です。正門では、受講学生用と授業以外の学生や教職員用の2か所の入り口を設けています。

後期授業開始に伴い、オンライン授業だけでなく、40名以下という人数制限付きで対面授業を開始いたしました。そのため、教職員および入構が認められた学生は入構が可能となりました。また、引き続き学外の方の入構は原則ご遠慮いただいております。入構するにあたって、「駒澤大学新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を設け学生や教職員に周知し、正門での検温・消毒・入構目的の確認を徹底して実施しています。



授業

次に、学生たちが受講する授業を覗いてみましょう。こちらの授業、出席している学生が少ない…のではなく、リモートで参加する学生と、対面で参加する学生の両方が存在する「ハイブリッド授業」なんです！教場前方のスクリーンに映っているのがリモートで参加している学生たちです。遠方から通う学生や、自宅のネットワーク環境が整っていない学生にも対応できるよう、学生に選択肢を提示したハイブリッド授業。コロナ禍に適した配慮のある新しい授業形態ですね。すべての授業がこのように実施されているわけではありませんが、現在多くの授業がリモートで実施されています。



窓口

次は学生達が相談や申請を行う窓口です。教務部・学生部・キャリアセンター・図書館・入学センターなど学生と接する窓口では、消毒液の設置、飛沫防止のパネルを設置し、数時間おきに専門業者による窓口の消毒、清掃を行っています。また、対応する職員は必ずマスクを着用しています。手続きはオンラインで対応しているものがほとんどで、キャリアセンターの進路相談などはリモートで行われています。
(写真左：学生部受付)

キャリアセンターでは出入口を固定し、入室の際学生はQRコードで受付を行う仕組みになっています。学生の目的に合わせた案内を行い、三密を防いでいます。

(写真右：キャリアセンター入口)



課外活動



次に、課外活動の様子です。学生は、学生部が定めた「新型コロナウイルスの感染状況に応じた課外活動のガイドライン」に従って活動しています。現段階では、活動に際して学生部への申請が必要となり、その申請には参加する学生とその保証人の同意書、活動内容や三密回避対策の詳細について部長・顧問など責任者の承認が必要です。学生が課外活動に安全に取り組めるよう状況を見極め、ガイドラインに則って指導しています。

(写真左：対策をして部活に参加する学生の様子
協力：体育会応援指導部ブルーペガサス)

また学生部では、学生同士の交流が減少したことを踏まえて、新入生が先輩たちを知ることができる機会や学生同士が交流できる機会を作ろう！と「Meetでつながる駒ランチ」を企画し定期的に開催しています。学生部職員が司会進行を務め、ランチタイムにオンラインで学生同士テーマに沿って話してもらい、その様子を学生たちが見ることができるイベントです。テーマは部活・サークルの紹介やコロナ禍の過ごし方、アルバイト事情や先輩への質問など様々です。この他にも、対面とオンラインを両立した新入生オリエンテーションやサークルフェスティバルの開催、学生の現状についてアンケートを行い、場合によっては電話でコミュニケーションを図るなど、学生に寄り添った企画やケアを行っています。

(写真右：「Meetでつながる駒ランチ」実施の様子)



写真：図書館メインカウンターの様子

学習環境

最後は大学の頭脳！約124万冊の蔵書を誇る、図書館の様子です。現在図書館では「予約制入館」を行っています。午前と午後に分けて予約を行い、各時間100名（先着順）まで入館することができます。（※学外の方の入館はご遠慮いただいております）午前と午後の部の間の時間には専門業者による消毒と清掃を行い、予約確認を行うメインカウンターや相談カウンター、図書検索を行うPCスペースを、学生もスタッフも安心して使用できるよう対策しています。

また、卒業論文等を履修している学部生を対象に1回に限り「図書の配送貸出サービス」を行っています。申込から貸出、返却まで図書館に行くことなく利用でき、送料は大学が負担することで、学生の負担を軽減しています。

今年度電子書籍化を推進し、学生は自宅PCで検索・閲覧が可能となりました。学生にとって「学び」の機会をコロナ禍以前と変わりなく提供されるだけでなく、コロナ禍以前よりも快適に活用できるよう対応し続けています。

そんな昭和48年9月に開館した現図書館は、令和4年10月に生まれ変わるべく、現在新図書館を建設中です。新図書館のコンセプトは「智の蔵」。フロアごとに「収蔵」「交流」「学修」「調査」「研究」というテーマを設け、それに沿った空間創りを行うことで、学生の多様な学修スタイルに応じた、入館者が求める滞在場所を自由に選択できる構成を予定しています。

新図書館についてより詳細を知りたい方、建設へのご支援をお考えの方はQRコード⇒からご確認ください。



写真：新図書館完成イメージ

以上、駒沢キャンパスの「いま」をご紹介します。新型コロナウイルスの終息が見えず、新たな生活様式や組織の在り方が問われています。今後どのように学生を取り巻く環境が変化しようとも、より多くの学生が「駒沢大学で学べて良かった」と笑顔で過ごすことができるよう、学生のために教職員・スタッフ一同取り組んでまいります。今後とも変わらぬご指導、ご支援の程何卒よろしくお願いいたします。

駒澤会 事務局



秋の研修会 中止寸話

厚生部長 滝沢 憲示

10月10日(土)～11日(日)に開催を予定していた駒澤会「秋の研修会」について、当初(案)として群馬県にある永井政之総長のお寺「良珊寺」の訪問や伊香保温泉への宿泊、富岡製糸場見学等がございました。今年度は情勢を踏まえ中止となりましたが「いつか木立に囲まれた良珊寺で、永井総長の講話を聴かせていただきたい」と、新型コロナウイルスの終息と共に願っております。

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回会報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせ致します。

運用先	7月～11月までの利金	備考
野村証券	58,858円	みずほ・三菱UFJ社債
みずほ銀行	34円	定期預金利息
世田谷信用金庫	2,554円	定期預金利息
合計	61,446円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。希望される場合は、駒澤会事務局・谷国(タニクニ)までご連絡ください。

TEL: 03-3418-9189 / FAX: 03-3418-9190

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和2年6月1日から令和2年12月初旬までの期間にご入会いただいた21名の方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

田中 弥生 様	正田 賢司 様	平島 章 様	池田 魯参 様
池田 修三 様	石井 洋一 様	二井 一博 様	土田 好雄 様
山田 浩 様	高橋 宗明 様	佐々木 洋一 様	久保 隆児 様
杉戸 利彰 様	関茂 浩一 様	鈴木 伸二 様	他匿名 6名

大学の近況報告

ここでは前号を発行した7月以降に大学で起きた様々な出来事の一部を報告させていただきます。

- 9月 後期オンライン授業・条件付き対面授業開始
東都大学野球秋季リーグ戦開始
- 10月 プロ野球ドラフト会議 3名指名
オンラインオータムフェスティバル開催
- 11月 第52回 全日本大学駅伝対校選手権大会
優勝(大会新記録・6年ぶり通算最多13回目)
新生オリエンテーション・サークルフェスティバル
オンラインと対面のハイブリッド開催



優勝報告(右から松原元理事長・大八木監督・田澤選手・酒井選手)

事務局からのお知らせ			
【大学行事予定】		【駒澤会行事予定】	
12/28~1/6	冬季全学休業期間	1/2・3	お家で箱根駅伝応援
2/4~8	2月一般選抜	1/23	役員会
3/7	3月一般選抜	2/13	駒澤会新年賀詞交歓会
3/23・24	卒業式	3/13	役員会

※新型コロナウイルスの影響で行事予定を調整しているため、変更になる場合がございます。ご了承ください。

箱根駅伝応援企画紹介

1月2日・3日に行われる箱根駅伝は「無観客応援」が決定しチームスタッフや選手保護者、例年現地で応援活動を行っていた学生団体も、現地での応援活動を自粛します。

【大会開催者からの自粛要請事項】

- ・大学関係者やOB,OG、応援団、保護者による沿道での応援行為
- ・のぼりの設置
- ・大学応援グッズや小旗、大学新聞の配布
- ・チームスタッフや部員による計測行為

そこで、大学をはじめ学生団体が様々な「お家で応援企画」を行っています。今までとは一味違う「特別」な箱根駅伝。頑張るすべての駒大生と一緒に応援しませんか？

ぜひ、お家からご声援をお願いいたします。

大学広報課による
＼情報はコチラから／



駒澤大学
公式ホームページ

駒大専門の実況を
＼確認できます！／



学生団体
駒大スポーツ陸上班
Twitterアカウント
@KomaspoTaf

まさに応援の
＼プロフェッショナル！／



学生団体
体育会応援指導部
ブルーベガサス
公式ホームページ



広報部長 齋藤 和子

庭の檸檬が黄色く色付いています。今年は春から何度眺めたことでしょう。沢山の花が咲いた後に成った実が葉と同化して分からず、幾つ付いているのかと何度も何度も数え直しました。

何時もの年なら気にも止めずに通り過ぎてしまうこと。

我慢したことも沢山あった一年だったけど、些細な出来事を楽しみに変える術も覚ええました。

来年は皆で語り合う事が出来る年になるように祈っています。



☆-★-☆-★-☆-★-☆-★
駒澤会新規会員募集中
★-☆-★-☆-★-☆-★-☆

駒澤会では新規会員を随時募集しております。ご友人、お仲間に駒澤大学ご出身のお子さまがいる方はいらっしゃいませんか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行事を通して楽しく交流しましょう♪♪

駒澤大学では、学生の学びの機会の確保と教育研究の維持発展を目的として「駒澤大学教育研究振興基金」を設立しております。

基金を通じた更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

詳細はこちらからご確認ください。

 <https://www.komazawa-u.ac.jp/bokin/education.html>



【駒澤会ホームページのご案内】



スマートフォンはこちらからアクセス →



駒澤大学
駒澤会

駒澤会だより 第34号

発行日：令和2年12月15日

発行者：駒澤大学駒澤会 広報部

〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1

TEL：03-3418-9189/FAX：03-3418-9190